

2024年

9月瀬戸蔵ミュージアム

Setogura Museum

瀬戸焼の総合ミュージアム。
やきもののまち瀬戸を体感できます。
(入口は瀬戸蔵の2階です)

催物案内



企画展示室 企画展 「新収蔵品展 2020-2022」

当館は、来年で開館20周年を迎えます。その間、瀬戸および瀬戸焼に関する作品・資料の収集にも力を入れてまいりました。これらは窯業民具、工芸品や工業製品、戦時中の代用品、セトノベルティ、それらの関連文書、さらにやきもの輸送を担った瀬戸電の関連資料など、多岐にわたります。

今回はこうした収集活動の成果をお知らせするため、2020年から2022年までに新たに収蔵した作品・資料の内、約60点を展示します。



緑釉陽刻牡丹文花瓶
大正時代～昭和時代

9月7日(土)から2025年1月19日(日)まで

中央通りギャラリー 「土の詩～愛陶工陶芸部会展～」

愛知県陶磁器工業協同組合陶芸部会加盟の会員8名による作品展です。伝統的な技法の作品や、作家の個性が活かされた作品など「現在の瀬戸のやきもの」があふれる展示です。

10月20日(日)まで

旧尾張瀬戸駅構内 「モ754 ～里帰りして20年～」

1965年から1973年まで瀬戸線の主力として親しまれたモ754の運行当時の姿や瀬戸蔵への輸送・設置の様子を写真で紹介します。

2025年3月30日(日)まで



モ754 (2004年1月) 撮影：山田司



開館時間：9：00～17：00 (入館は16：30まで)
入館料：一般：520円、65歳以上・高校生・大学生：310円、
中学生以下・妊婦・障害者手帳をお持ちの方：無料
年間パスポート：一般1570円、65歳以上・高大生940円

9月30日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190